

大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テストに関するQ & A

受験資格等に関する質問（各選考区分共通）

Q	「出願に必要な免許状」を取得見込みでも受験できますか？
A	<p>令和8年（2026年）4月1日までに確実に普通免許状を取得する見込みであれば受験できます。</p> <p>令和8年（2026年）4月1日時点で普通免許状が有効でない場合や、取得見込みで受験した者が令和8年（2026年）4月1日までに「出願に必要な普通免許状（授与年月日が令和8年（2026年）4月1日付けのものを含まず。）を取得できなかった場合には、令和8年度（2026年度）大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト（以下「R8テスト」という。）の合格により得た一切の資格を失います。（採用時期が令和8年（2026年）4月2日以降の場合においても同様です。）。</p> <p>※令和7年度（2025年度）中に実施される保健師国家試験の合格により得られる資格を基礎として、養護教諭普通免許状を取得しようとする場合は、令和8年（2026年）4月1日までに養護教諭普通免許状を取得見込みであってもR8テストを受験することはできません。</p> <p>※栄養教諭の普通免許状を取得するにあたり、当該免許状の基礎資格となる栄養士免許を令和8年（2026年）4月1日までに取得する場合であっても、栄養教諭普通免許状が令和8年（2026年）4月1日までに取得できなかった場合には、R8テストの合格により得た一切の資格を失います。</p> <p>※令和4年（2022年）5月の改正教育職員免許法の成立により、令和4年（2022年）7月1日付で教員免許更新制は発展的に解消されました。令和4年（2022年）7月1日時点で有効な教員免許状（「休眠状態」のものを含む）は、手続きなく有効期限のない免許状となります。また、施行日（令和4年（2022年）7月1日）前に有効期限（修了確認期限日、又は有効期間の満了の日）を超過し、教員免許状が失効している場合は、再授与申請が必要となります。（※「休眠状態」の場合は、再授与申請は不要です。）なお、「休眠状態」とは、旧免許状所持者で、①教員等として勤務したことがない者、②有効期限と同日に、自己都合・勸奨により退職した者、③有効期限の日に現職の教員等でなかった者のことを指します。</p>
Q	年齢制限はありますか？
A	<p>選考区分ごとに下記のとおり、受験資格として設けています。</p> <ul style="list-style-type: none">■「一般選考」、「障害者対象の選考」、「豊能地区常勤講師等対象の選考」、「教諭等経験者対象の選考」、「大学等推薦者対象の選考」、「大学等推薦者小中チャレンジ対象の選考」 昭和39年（1964年）4月2日以降に出生していること■「大学3年生対象の選考」 大学3年次【※】で令和9年（2027年）3月31日までに大学卒業見込みの者 【※】大学の最終年次の1年前の年次の者（大学院、短期大学、専門学校、科目等履修生は除く） <p>この区分は、直接的には年齢要件を定めていませんが、令和9年度（2027年度）大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト（「一般選考」又は「障害者対象の選考」の区分）の「小学校」の受験資格を満たす必要があります。詳しくは、受験案内P4をご確認ください。</p> <p>（注）資格要件等の確認</p> <p>出願受付時において、受験資格や資格要件の詳細な確認は行いません。資格要件を満たしていないときや、採用するに相応しくない非違行為が判明した場合、あるいは出願内容等に虚偽の記入あった場合には、合格の取り消し又は受験を無効とする場合がありますので、受験案内を十分確認のうえ、出願してください。</p>
Q	受験資格の確認に必要な書類等はいつ提出すればいいですか？
A	<ul style="list-style-type: none">■「障害者対象の選考」 ⇒身体障害者手帳、療育手帳（障害者職業センター等の公的判定期間で知的障害者と判定された者を含む。）、精神障害者保健福祉手帳のコピー（顔写真・名前・生年月日が記載されたページ）を出願時に郵送で提出してください。詳しくは、受験案内P10をご確認ください。■「豊能地区常勤講師等対象の選考」、「教諭等経験者対象の選考」 ⇒勤務経験等を受験資格としているため、合格後、別途指定する期日までに、在職・勤務証明書等を提出していただきます。期日までに在職期間等の確認ができない場合又は資格要件を満たしていなかった場合は、R8テストの合格により得た一切の資格を失います。■「大学3年生対象の選考」 ⇒第1次選考合格者に対して受験資格を確認するため、関係書類の提出を求めます。（詳細は結果通知に記載します。）詳しくは、受験案内P.5をご確認ください。

『豊能地区常勤講師等対象の選考』の受験資格 選考区分別要件に関する質問

Q	大阪府外の常勤講師の歴は、勤務経験に含めることができますか？
A	含めることはできません。 大阪府外のみならず、大阪府、大阪市、堺市における常勤講師の歴についても、勤務歴に含めることはできません。
Q	非常勤講師の歴は、勤務経験に含めることができますか？
A	含めることはできません。
Q	正規任用の教諭の歴は、勤務経験に含めることができますか？
A	令和6年(2024年)3月31日までの通算年数に、小学校・中学校・義務教育学校における正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を付さない常勤講師（いずれも、任期付き採用や臨時的任用の場合を除く。）としての勤務経験(休職期間を除く。)を含めることができます。ただし、公立小学校・中学校・義務教育学校に限ります。
Q	受験を希望する校種教科等における勤務経験がなければ受験できませんか？
A	勤務経験における校種教科等は問いません。豊能地区内の公立小学校・中学校・義務教育学校における常勤講師等としての勤務経験が受験希望の校種教科等と異なっても、受験資格を満たせば受験可能です。

『教諭等経験者対象の選考』の受験資格 選考区分別要件に関する質問

Q	令和7年(2025年)4月1日現在、大阪府内（大阪市内・堺市内も含む）の公立学校に勤務している教諭はこの選考区分に出願できますか？
A	出願できません。受験資格を満たしていれば他の選考区分での出願はできます。
Q	「学校教育法上の国立学校、公立学校、私立学校」には、小学校・中学校・義務教育学校の他に、高等学校や特別支援学校、幼稚園も含まれますか？
A	小学校・中学校・義務教育学校の他に、高等学校や特別支援学校、幼稚園等も含みます。 ただし、大阪府、大阪市、堺市が実施した採用選考に合格し正規任用された教諭等として令和7年（2025年）4月1日時点で在職している者は、この選考区分に出願することはできません。
Q	受験を希望する校種教科等において、教諭等として授業等を担当した実績がなければ、受験できませんか？
A	教諭等として授業等を担当した実績がない校種教科等は受験できません。 出願校種教科等に必要の普通免許状を有したうえで、教諭等として令和7年（2025年）3月31日現在で1年以上教育課程内の授業等を担当した（時間数は問わないが、休職期間は除く。）実績のある校種教科等に関し、受験できます。
Q	「教諭等」とは何を意味しますか？
A	正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を付さない常勤講師（いずれも、任期付き採用や臨時的任用の場合を除く。）のことです。 なお、任用の期限を付さない常勤講師とは、日本国籍を有しない人が正規の教員として任用された場合をいい、同様の任用であれば職名は問いません。

出願に関する質問

Q	出願期間を教えてください。
A	令和7年（2025年）3月24日（月）から4月24日（木）までです。 *インターネットによる出願は、初日の午前10時から、最終日は午後5時までの受信分有効。 *郵送による書類提出が必要な方は、出願期間中の消印有効。（消印は日本国内の郵便に限る。）
Q	出願方法を教えてください。
A	大阪府豊能地区教職員人事協議会（以下「協議会」という。）ホームページより、電子申請(インターネット)で出願してください。 詳しくは、受験案内P9~11をご確認ください。
Q	インターネットによる出願ができないのは、どのような場合ですか？
A	「大学等推薦者対象の選考」及び「大学等推薦者小中チャレンジ対象の選考」は、インターネットによる出願ができません。 在籍されている大学等を通じ「郵送」で出願してください。
Q	インターネットで出願後、間違いなく出願できたかどうか確認できますか？
A	出願が完了すると、「整理番号」と「パスワード」が画面上に表示されるとともに、メールでも送信されますので、受信メールを確認してください。 協議会のホームページ (https://toyono-jinjikyo.com/) の電子申込システムの「申込内容照会」画面にて、「整理番号」と「パスワード」を入力すると、ご自身の出願内容をご確認いただけます。 なお、迷惑メール対策等を行っている場合は、toyono-jinjikyo@apply.e-tumo.jpからのメールを受信できる設定にしたうえで、出願してください。
Q	出願の際、受験願書の他に書類を提出する必要はありますか？
A	受験する選考区分や出願方法等によって、受験願書の他にも必要書類を提出していただくことがあります。
Q	受験に際し配慮を希望することがある場合はどうすればいいですか？
A	「受験に際し配慮を希望する内容」欄に希望する配慮内容を記入のうえ、出願してください。 また、その他不明な点がある場合や、出願後に配慮が必要な状況が生じた場合等は、協議会採用グループ（06-6858-3341）までご相談ください。

テスト内容や日程等に関する質問

Q	出題内容や選考日程を教えてください。
A	受験案内P5～8の「4 選考日程・内容及び携行品」をご確認ください。
Q	選考基準を教えてください。
A	受験案内P16～17に掲載している「R8テスト 選考基準」をご確認ください。 各テストの「主な評価の観点」としてお示ししているもの以外はお答えできません。
Q	配点を教えてください。
A	受験案内P12～13に掲載している、第1次選考及び第2次選考の「配点について」をご確認ください。 選考区分や校種教科等により異なります。
Q	過去問題を閲覧することはできますか？
A	豊能地区3市2町の担当部署で閲覧及びコピーが可能です。また、協議会のホームページ (https://toyono-jinjikyoo.com/)『これまでの教員採用選考』でも公開しています。 詳しくは、受験案内P18「前年度までのテスト問題の閲覧について」をご確認ください。
Q	2次面接の模擬対応ではどのようなテーマが出題されますか？
A	協議会のホームページに公開中の「R8テスト 参考資料」に例を掲載しております。また同時に公開しています「模擬対応について」もご覧ください。受験案内はP8「*4」をご確認ください。
Q	面接テストでは集団討論を実施しますか？
A	集団討論は実施しません。 第1次選考では集団面接、第2次選考では模擬対応、個人面接を実施します。
Q	受験月日、集合時刻、選考会場を教えてください。
A	受験票にて情報をお知らせします。詳しくは、受験案内P11「6 受験票の交付」をご確認ください。
Q	受験月日、集合時刻、選考会場は変更できますか？
A	いかなる理由であっても、受験月日、集合時刻、選考会場の変更は認めません。
Q	受験票はいつ交付されますか？
A	<p>「一般選考」「障害者対象の選考」「大学3年生対象の選考」</p> <p>■第1次選考筆答テストの受験票：5月30日（金）に交付する予定です。（電子申込システム）</p> <p>■第1次選考面接テストの受験票：6月20日（金）に交付する予定です。（電子申込システム*筆答テストを受験した方へ）</p> <p>「豊能地区常勤講師等の選考」「教諭等経験者対象の選考」 「大学等推薦者対象の選考」「大学等推薦者小中チャレンジ対象の選考」</p> <p>■第1次選考面接テストの受験票：6月上旬頃に交付する予定です。（電子申込システム）</p> <p>R7テスト「大学3年生対象の選考」合格者</p> <p>■第1次選考テスト受験票：交付しません。</p> <p>「全選考区分」</p> <p>■第2次選考テストの受験票：7月22日（火）に交付する予定です。（電子申込システム） （R7テストの「大学3年生対象の選考」で合格と判定された者は、R8テストの出願期間中に、別途指定のURL 又はQRコードから「電子申込システム」にアクセスし出願した者に対し、受験票を交付します。）</p>

その他の質問

Q	受験案内はどこで入手できますか？
A	<p>主には下記の方法で入手できます。</p> <p>① 協議会ホームページ (https://toyono-jinjikyو.com/) からダウンロード ② 協議会又は3市2町の教職員人事担当課の窓口で直接入手 ③ 郵送請求による入手（請求方法は協議会ホームページでご確認ください。）</p>
Q	今年度の採用予定数を教えてください。
A	<p>小学校約50名、中学校約40名、養護教諭若干名、栄養教諭若干名です。</p> <p>なお、中学校各教科の採用予定数の内訳はお答えできません。詳しくは、受験案内P2「1 選考校種・教科等及び採用予定数」をご確認ください。</p>
Q	昨年度テストからの変更点はありますか？
A	<p>○ 「常勤講師等経験者対象の選考」を「豊能地区常勤講師等対象の選考」へと名称を変更し、豊能地区内公立小学校・中学校・義務教育学校での勤務経験者を対象とした選考区分に改めます。（詳細は受験案内P4参照）</p> <p>○ 「現職教諭対象の選考」を「教諭等経験者対象の選考」へと名称を変更し、「令和7年4月1日現在における教諭等としての在職」を受験資格から除き、選考方法を改めます。（詳細は受験案内P4参照）</p> <p>○ 全ての選考区分（「大学3年生対象の選考」は除く）の年齢要件を「昭和39年4月2日以降に出生していること。」とします。（詳細は受験案内P4～5参照）</p> <p>今年度の主な変更点は以上3点です。受験案内P1「今年度の主な変更点」をご確認ください。</p>
Q	「大学等推薦者対象の選考区分」の中学校で出願できる教科を教えてください。
A	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の10教科です。
Q	3市2町のどこで勤務したいか、希望できますか？
A	第2次選考合格者に、採用希望先を調査したうえで採用先の市町教育委員会を決定します。ただし、必ずしも希望にそえるとは限りません。
Q	豊能地区内にある特別支援学校や高等学校の教員採用選考テストも行っていますか？
A	行っておりません。豊能地区内公立小・中・義務教育学校の教員採用選考テストとなっております。
Q	合格後、大学院進学のため辞退する者への採用猶予制度や採用選考テストの優遇措置等がありますか？
A	大学院進学者のための採用猶予制度や優遇措置等はありません。
Q	豊中市「マチカネ先生塾」・池田市「ふくまる教志塾」・箕面市「ぴあ・カレッジ」のいずれかの教員養成セミナー受講者を対象に、採用選考テストの優遇措置はありますか？
A	採用選考テストの一部免除等の優遇措置はありません。教員養成セミナーの詳しい内容を知りたいという方や受講を希望される方は、実施する市の教育委員会にお問い合わせください。
Q	給与水準を教えてください。
A	<p>初任給は、令和7年（2025年）4月1日採用者で、大学卒業者が月額約298,000円、短期大学卒業者が月額約272,000円、修士課程修了者が月額約311,000円です。</p> <p>これらの月額は、給料+教職調整額（給料の4%）+地域手当（給料+教職調整額の11.8%）+義務教育等教員特別手当の合計額です。</p> <p>また、経歴、その他に応じて一定の基準により加算されます。このほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当・勤勉手当等の諸手当が、条件に応じて支給されます。詳しくは、受験案内P14をご確認ください。</p>